

英語に関わる仕事は、国際業務に携わる行政機関から、航空会社や商社、海外と取引のある飲食業や英語教育といった分野まで実にさまざま。中には、国際的な研究機関やNPO団体で働くという選択肢もある。

独立行政法人 海洋研究開発機構 (JAMSTEC) の岡田紗代子さんもその一人。JAMSTECは世界一深く潜ることができる有人潜水調査船「しんかい6500」などを有する海洋調査研究機関。彼女は国際課で海外の関連機関との共同研究の業務進行サポートや各国の研究者や政府関係者が視察に来た際の調整役を任されている。

海外とのやりとりはEメールが中心。一日中、英文メールと格闘する日もあるのだとか。

「現在、入社2年目。実務を通して懸命にビジネス英語を覚えている状態です。職場には海外の大学院を出た先輩もいるので、メール送信前に添削してもらったりもします。また、海外のパートナーと共同研究を進める際、ルールについて定めた覚書の作成も手伝うのですが、

来客時は、簡単な通訳業務も担当します



海洋研究の専門用語と悪戦苦闘！ 海外で苦難を乗り越えた経験が 積極的に挑戦する自信をくれた

これが難しい！ 法律用語独特のいい回しが多分なく、一つひとつ辞書で調べたこともありましたが、

「思いっきり楽しもう！」と留学中はクラブ活動に熱中

岡田さんが留学を経験したのは、日本の大学在学中の3年次。大学の交換留学制度を利用してカナダ・オンタリオ州クイーンズ大学で9カ月間、通常の講義を受講した。

メインで学んだのは政治学。TOEFLの点数はクリアしていたものの、いきなりネイティブの学生と同じ講義に溶け込むのは「かなりキツかった」という。

「私が派遣された大学は、たとえば、政治学の授業を1つ履修すると、それぞれ週に大教室の講義1回、チューターによる20名程度の講義1〜2回を受講します。チューターの授業はディスカ

ッションが中心。最初は輪に入れず、『大変なところに来てしまった』と思いましたね」

それでも「話したい」という強い気持ちは常に持っていた。そこで、チューターに個人的に相談。だんだんディスカッション中に話題を振ってもらえるようになったという。

また、授業と並行して、クラブ活動にも積極的に参加していた。タップダンスにヨガ、刑務所の慰問ボランティア活動も経験した。

「もともと『日本ではできないような経験をして、視野を広げたい』と思って留学を決めたので、クラブ活動には特に力を入れていました。ポイントは「どれだけ多くの人と出会って、どれだけ多くの経験ができるか」。大学は田舎町にあったので、日本人はほとんどいなくて、仲間は各国の留学生とカナダ人中心。彼らとの共同生活や、刑務所での受刑者との交流を通して、すごく刺激を受けました」

仲間ができ、積極性が出てきたことで、ディスカッションの授業にも良い影響



独立行政法人
海洋研究開発機構 (JAMSTEC)
事業推進部 国際課
岡田 紗代子 さん (24歳)
Sayoko Okada

File 10

Career Talk
留学が生きるシゴト

MOVE YOUR CAREER

企業のグローバル化が進む現在、幅広い職種で語学力や国際感覚が必要な会社が増えてきた。そこで、先輩たちの「シゴトの現場」をクローズアップ！職場では、どんな風に留学経験が生かされているかを聞いてみた。

岡田さんの CAREER STORY

- 2003.4 関西学院大学法学部法律学科入学
- 2005.9 交換留学制度を利用して、カナダ、オンタリオ州クイーンズ大学で8ヵ月間の留学を経験
- 2007.3 国際協力及び環境関連のNGOで半年間のインターンシップを経験
- 2008.2 留学中の友人たちに会いにヨーロッパひとり旅。5ヵ国を巡る
- 2008.3 関西学院大学卒業
- 2008.4 独立行政法人海洋研究開発機構入社。国際課に配属となる。現在入社2年目

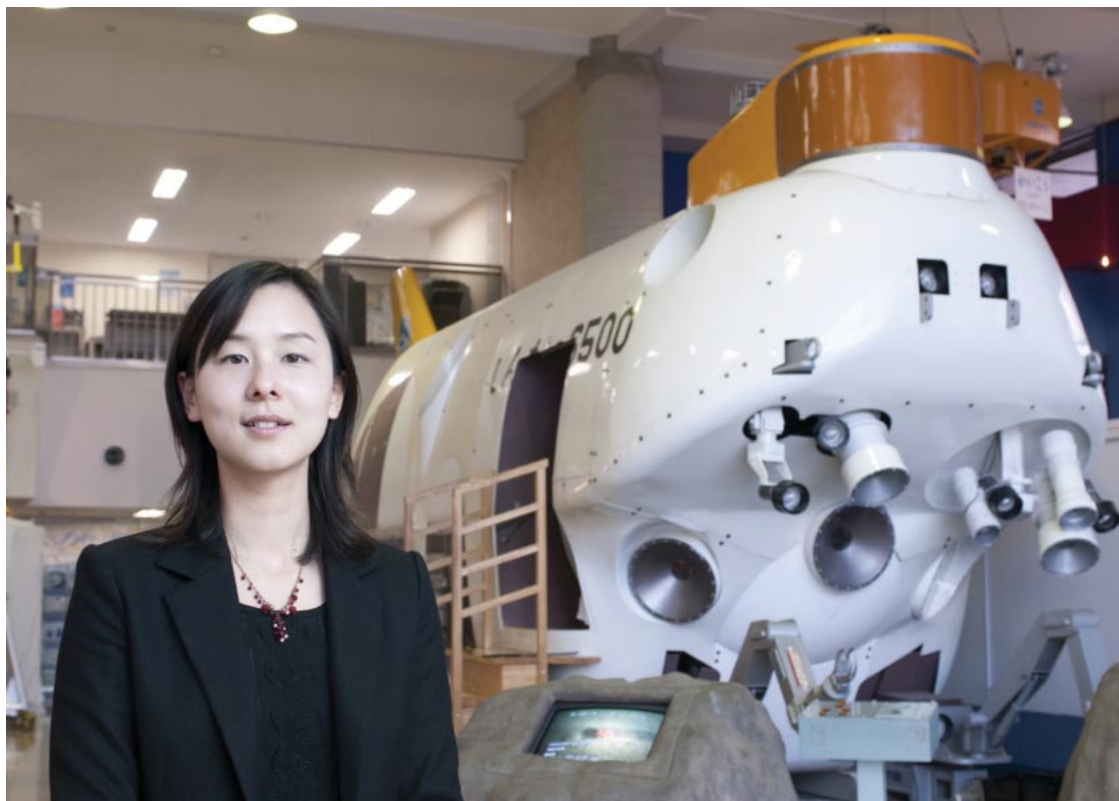
丸茂健一＝取材・文
Text by Kenichi Marumo
相楽正人＝撮影
Photographs by Masahito Aitsuki



留学時代 ①交換留学生仲間はイタリア人、ドイツ人など国籍は多彩! ②タップダンスクラブのメンバーと一緒に



敷地内には「しんかい6500」のレプリカも展示されている



WORK

①1年目でオーストラリア出張を経験。現地の研究者と朝食ミーティング ②地球深部探査船「ちきゅう」の一般公開では大使館対応を担当 ③英文ビジネス契約書大辞典、国連海洋法条約英和対訳は必携。お気に入りのノートに手帳、大学時代から使っている電子辞書、携帯電話は海外通話対応です



Information

留学ジャーナルでは、就職や転職に関する相談を受け付けています。留学前・留学後はもちろん、留学中でもメールでご相談が可能です。カウンセリングは無料ですので、お気軽にお問い合わせください。

キャリア相談
メールアドレス
ryugaku@ryugaku.co.jp
☎0120-890-987



独立行政法人 海洋研究開発機構(JAMSTEC)

海洋に関する基盤的研究開発、学術研究の支援などを行う研究機関。水深6500mまで潜れる有人潜水調査船「しんかい6500」などを有する。毎月第3金曜日に見学ツアーを行っている(横須賀本部)。
<http://www.jamstec.go.jp/j/>

が出てきた。「発言回数はそれほど多くなくてもいいから、自分の言葉で自分ならではの意見をいえればOK」と、何かが吹っ切れた彼女の発言は、次第に注目を集めるように。カナダ人になじみ「独自の視点」が存在意義を持ったことは、彼女に大きな自信をもたらした。

就職活動のキーワードは「国際的な舞台」と「環境」

帰国後、就職活動を控えた岡田さんは以前から興味があった国際協力及び環境関連のNGOでインターンシップを経験。①国際的な舞台で働きたい

②環境関連の仕事に携わりたいという将来の仕事像も明確になってきた。求人情報を集め、たどり着いたのが現在の職場。面接では、もちろん留学中のディスカッションやボランティアのエピソードで自己アピールをした。

性をぶつけ合って生まれる調和があることを学びました。これは現在の仕事でも確実に役立っています。また、海外でじっくり自分を見つめたことで、「どんな結果を求めるといふ自分の軸みたいなものも見えた気がします。現在の職場には海外派遣制度がある

り、私のような事務職でも参加するチャンスがあります。今の目標は海外派遣を経験して、さらなる専門知識と英語スキルを身につけること。まずは、「この人なら海外経験をプラスにできる」と思ってもらえるよう、目の前の仕事に全力で取り組みます!」

1週間のスケジュール

	午前	午後
月	メールチェック 委員会開催に向け大学教授らと連絡調整	課内会など
火	事務作業など	省庁対応 大学教授らと連絡調整
水	海外の機関との共同研究文案英文チェック 委員会資料作成	事務作業など 委員会開催に向けた会場設営
木	委員会開催(議事メモ作成など)	海外からの要人視察事前準備(大使館とのメール連絡など)
金	委員会結果概要作成	海外からの要人視察対応
土	休日	
日	休日	